

(様式1)

校種	小・中 どちらかに○	学校番号	47	学校名	宇都宮市立雀宮中央小学校
----	---------------	------	----	-----	--------------

令和6年度 学校経営計画

1 教育目標

(1) 基本目標

自主・自律の精神と豊かな心をもった、心身共に健康な児童を育成する

(2) 具体目標（具体的な児童生徒像など）

- 明るく元気でがんばる子ども（元気）
- 進んで学びよく考える子ども（やる気）
- 心豊かで思いやりのある子ども（思いやり）

合言葉 「元気 やる気 思いやりのある 雀央っ子」

2 学校経営の理念

学校は、児童にとって安心かつ安全な場所、楽しく前向きなエネルギーをもった場所ではなければならない。児童は、そのままの自分を受け入れてくれているという安心感の中で自己の存在感を感じ、互いに切磋琢磨して自己を成長させ、困難に負けない強さを身に付けていくことができる。そして、未来に向かって夢をもち、道を切り開いていく力を蓄えることができる。

また、学校は、学びの面白さを実感できる場所でなくてはならない。児童は、主体的・対話的な学びを通して、分かる楽しさや自己の力の向上に気づいていく。

そのために、教職員が、常に前向きな姿勢で職務に取り組み、児童一人ひとりと向き合い、互いにチームとして支え合い、絶えず研修に励んで専門性を高めて授業力を向上させるとともに、保護者や地域住民と連携し、信頼関係の下、共に子どもたちを育てていくことのできる学校づくりを目指す。

3 学校経営の方針

- (1) 知・徳・体の調和を図りながら、社会に開かれた教育課程を編成して資質・能力を育み、教育目標の実現に努める。
- (2) 児童がよさや可能性を発揮したり協働したりできる、行きがい・居がいのある学校づくりに努める。
- (3) 職員が日々の研究と修養に努めることを推進するとともに、同僚性と自律性を基盤にした職場づくりに努める。
- (4) 地域学校園内の小中学校との連携を深め、義務教育9年間を見通した系統的・継続的な指導の充実に努める。
- (5) 地域とともにある学校づくりを推進し、家庭・地域・関係機関との連携協力体制の強化に努める。
- (6) 学校教育目標達成のために、業務の改善と勤務時間を意識した働き方の推進を行い、教職員の健康安全を大切に、指導の質的向上に配慮しつつ持続可能な学校体制づくりに努める。

[雀宮地域学校園教育ビジョン] 一人一人が自らのよさを自覚し、主体的に学ぶ児童生徒の育成 ～生き生きとした活動を通して人とつながる～

4 教育課程編成の方針

(1) 基本方針

- ・児童の心身の発達段階の特性及び学校や地域の実態を考慮して編成を行う。特に地域の人的、物的な教育資源および環境を把握し、教育活動の中に積極的に取り入れる。
- ・地域学校園教育ビジョンを目指す教育課程となるよう、9年間の学びの連続性を考慮した編成を行う。

(2) 留意点

- ・各種調査等の結果を踏まえ、知・徳・体の課題を明確にして指導の重点化を図る。
- ・教科横断的な視点を持ち、各教科間または各教科の学習内容に関連する道徳科・総合的な学習の時間・特別活動の実施内容や時期を考慮するなど、カリキュラムマネジメントの充実に努める。
- ・インクルーシブ教育の充実に向け学校全体で特別支援教育を推進する。

5 今年度の重点目標（「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○）

(1) 学校運営

- ・温かい人間関係の下、児童のよさが生かされる、行きがい・居がいのある学校を作る。
- ・家庭・地域と児童の育成について思いを一つにした信頼される学校作りを推進
- ・地域協議会や関係機関及び団体等と連携し、地域の教育資源を生かした活動や幅広い人材の活用を行う地域と共にある開かれた学校を作る。
- ・○地域学校園教育ビジョンを共有し、学びの連続性を意識した具体策の実行
- ・全教職員が必要な情報を共有し、互いの要請に応え合えるチーム作り
- ・業務の改善の視点の共有と勤務時間を意識した働き方の推進
- ・教職員と児童がゴールを共有して教育活動を展開する「雀央っ子が今年がんばること」の実施（年間3回PDCAサイクルの実行）

(2) 学習指導：やる気

「学習意欲を高める授業」、「主体的・対話的に学び合う授業」、「学習内容が確実に定着する授業」づくりを工夫する。

- ・ねらいが明確で、実生活に関わる教材の提供により学ぶ意欲がもてる授業
- ・○ねらいを実現するため、協働的解決のための時間を確保し、対話的に学び合う授業
- ・ねらいが実現されたかどうかを振り返り、適切に評価されている授業
- ・評価が次の授業改善に生かされ、確実に学習内容が定着していく授業
- ・教科横断的な視点に立ち、各教科で身に付けた資質・能力を活用・発揮できる授業

(3) 児童生徒指導：思いやり

心の教育の充実により、自信や自己有用感、たくましさ、規範意識、思いやりなど、豊かな心を育む。

- ・自信や自己有用感の向上を図るための、認め・褒め・励ます指導
- ・不登校を生まないチーム支援の充実
- ・一人ひとりの教育的ニーズに対応するための多様な学びの場の提供

- ・いじめの解決に向けて自主的な行動を促す機会や場の設定
 - ・主体的に判断しインターネットを適切に使用できるようにする指導・支援の充実
 - ・〇教育活動全体を通した「宮っ子心の教育」の推進と道徳の授業の充実
- (4) 健康（体力・保健・食育・安全）：元気
- 生涯に渡って、心身ともに健康で安全な生活を送るための資質や能力を育成する。
- ・運動に親しみ、運動量を確保する活動の工夫
 - ・健康を脅かすさまざまな要因の理解と健康を管理する能力の育成
 - ・〇食事の重要性や栄養バランス等、望ましい食習慣の定着を図る指導の充実
 - ・危険を予測し、自身の安全を守るための判断力や実践力の育成

6 学習指導，児童生徒指導，健康（体力・保健・食育・安全）に関する取組

※ 様式2～4参照

7 特色ある学校づくり等に関する取組

- (1) 育てたい資質・能力
- ・学校，家庭，地域が一体となって，学校及び地域をより良くするための活動を企画実践する活動を通して，コミュニケーション能力を育成する。
- (2) 具体的取組（提案型予算「頑張る学校プロジェクト」に関する取組には文頭に◇）
- ・地域の教育資源等を発掘し，総合的な学習の時間を中心に，発達段階に応じて地域のよさに気付く活動を行う。
 - ・校外学習等で地域に目を向け，よさを発見することを通して，地域に対する思いを育成する。
 - ・◇地域協議会の協力をえてWE LOVE 雀宮（雀央サミット）企画・実践・発表を行う。

8 本市の重点施策・事業との関連

- (1) 地域とともにある学校づくり（「魅力ある学校づくり地域協議会」との連携・協働を含む）
- ①基本的な考え
- ・地域と一体となって子供たちを育むためには，地域の実情や学校に対する願いを理解しなければならない。そのために，地域協議会の協力を得ながら学校の教育活動を見直す。
- ②主な取り組み
- ・6年総合的な学習の時間「WE LOVE 雀宮」（雀央サミット）
 - ・学校田での田植え・稲刈り（2・5年生）農業ボランティア・学習支援ボランティア
 - ・あいさつ運動・親子料理教室・雀っ子心の表彰・豊かな心書道展
- (2) 小中一貫教育・地域学校園
- ①基本的な考え
- ・園内の小中学校及び地域との連携を深め，義務教育9年間を見通した系統的・継続的な指導の充実に努める。
- ②主な取組
- ・教科分科会を通した各教科の小中一貫した指導の実現と教員の指導力向上
 - ・運動に親しむ姿勢や基礎体力の育成，健康的な生活習慣の確立，食育の推進
 - ・小中学校間での情報共有，相互支援による一貫した児童生徒指導や不登校対策の強化

- ・小中学校間の交流活動や教員の相互授業参観等を通して、小中教員の相互理解の推進

(3) 不登校対策

①基本的考え

- ・新たな不登校を生まないため、温かで安心感のある学級づくりを行う。
- ・不登校の兆しの早期発見・早期対応に組織として取り組む。
- ・児童・保護者と信頼関係を築き、早期の段階から組織的・計画的な支援を行う。

②主な取組

- ・安心して考えを伝え合い、互いに高め合える学級集団の育成
- ・欠席した児童への電話連絡、家庭訪問、日々の言葉かけの確実な実施
- ・不登校対策担当教員を中心とする組織的対応
- ・児童の状況に応じた別室登校支援
- ・端末を活用した学習支援（端末を使った連絡・課題の提示、AIドリルの活用等）
- ・Q-U検査の結果の活用

(4) G I G Aスクール構想

①基本的考え

- ・学校教育を支える基盤的なツールとしての ICT の活用を進めていく。

②主な取組

- ・児童、教職員が一人一台端末を文具の一つとして、授業の内外で日常的に活用できるようにする。
- ・協働学習支援ツールの活用により、共同閲覧、共同編集等の機能を生かした協働的な学びの充実を図る。
- ・ICT 活用力向上を目指した校内研修の実施（※本年度学校研究課題）
- ・端末を有効活用し校務改善につなげる。（ICT 支援員の活用）

(5) 宇都宮学

①基本的考え

- ・自分たちの市や町に対する理解を深めるために社会科や総合的な学習の時間を中心に、「宇都宮学」や歴史の町である雀の宮についての学習に取り組み、郷土の未来を考えたり、魅力を表現したりできるようにする。

②主な取組

- ・校外学習や体験学習などの各種行事と「宇都宮学」を関連付け、主体的な探求活動になるようカリキュラムマネジメントに努める。
- ・3・4年では、社会科と総合的な学習の時間に学習し、郷土宇都宮についての理解を深める。
- ・5・6年では、総合的な学習の時間に学習し、宇都宮の自然と交通、宇都宮の伝統文化について学習し、郷土への愛情と誇りをもてるようにする。